

# 中期経営計画進捗状況報告

## R3 Plan 2019～2021

～地域にあり続けるために、創造と挑戦～

2021.9.30 現在

JAにしゅうわでは、自己改革の取組を継続しています。Reliance（信頼）Reform（改革）Resolution（決断力）のもと、課題を抽出し、今次中期経営計画の中で果敢に自己改革の取組を進めており、更に**農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化**に向けて取り組みを強化しています。



早生みかん収穫



農業体験



富士柿初選果



喜須来女性部  
トマトケチャップ作り

### 生産量の確保、優良園地の維持・継承による管内生産者農家戸数・販売面積の確保 （営農振興部）

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
<b>1. 出資型農業法人の検討・確立</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ プロジェクト会議を延べ13回開催、出荷型農業法人の設立は見合わず事になりました。</li> <li>■ 農業経営事業、農作業支援事業は従来通り展開し、独立経営ができるかどうか園地の確保状況と併せて探っていきます。</li> </ul>	<b>経営開始目標</b> 2021年度中
<b>2. 担い手支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 労働力の確保については前年同様、募集のサイト掲載支援、安全な受入れ体制の支援整備を行政支援のもとで行います。</li> <li>■ 法人農家1件、集落営農法人1件が設立となりました。</li> </ul>	<b>労働力斡旋人数</b> 14,500人役/年 <b>法人農家数</b> 1件/年
<b>3. 新規就農者の確保・支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上期3回リモート対応での相談会に出展しました。</li> <li>■ 研修生募集サイトに掲載しました。</li> <li>■ 7月に体験者1名受け入れました。</li> <li>■ 新規研修生を4月に3名、9月に2名受け入れました。</li> <li>■ 9月より1名新規に就農しました。</li> <li>■ 西宇和みかん支援隊定例会を6回開催しました。</li> <li>■ 研修生の税務研修会を1回実施しました。</li> </ul>	<b>体験・研修者受け入れ人数</b> 体験5人/年 研修2人/年

# 高品質生産への取り組み強化による農家の育成・支援強化による精品率の向上

(営農振興部)

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 高品質安定生産の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成績表を作成し、マルチの推進を図りました。また園地台帳を基に個別に秋肥の施肥袋数を提示し、秋肥の予約注文に活用しました。(秋肥前年対比 96%実績)</li> </ul>	個別面談戸数 1,000 戸/年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 奨励品種への改植促進として温州合計で 44,114 本、デコポン、清見、甘平合計で 16,630 本の苗木を導入しました。</li> </ul>	改植面積 100ha / 3年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マルチ被覆面積は 302ha となっています。</li> </ul>	マルチ被覆支援 300ha / 年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 土壌分析は計画通り 7月、9月に実施し、サンライムを約 6,837 袋施肥しました。</li> </ul>	石灰 7.5 万袋 / 3年 カルシウム資材 4,500ha / 3年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オリジナル品種の生産拡大に努めた結果、紅マドンナ 513t (241t)、甘平 481t (110t)、せとか 593t (229t) で合計 1,587t となりました。( ) 内は施設</li> </ul>	生産量 1,800t / 年
2. 補助事業の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 単軌道、レールで 8,500m、動力車 52 台、用水灌水園地 26 園地、園内道 19 園地の整備を行い、実施戸数は 137 戸と計画以上に推移しています。</li> </ul>	対象農家戸数 360 戸 / 3年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄筋柵で 5,209 枚・10,418m、電気柵 121 台設置、合計 168 園地に設置しました。</li> <li>■ イノシシの捕獲助成については 721 頭の実績となっています。</li> </ul>	防護柵の設置ヶ所 400ヶ所 / 3年



マンダリンスクール



共選長山廻り



みかんのある風景写真展

# 会員の維持と連携強化による地域活性化への貢献

(営農振興部)

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 会員維持による同志会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 11 日に同志会研究発表大会を開催、日頃の営農に関する研究や体験を発表し、情報の共有を図りました。</li> </ul>	同志会活動の延べ人数 200 人/年
2. 女性部加入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 16 日女性部セミナーを開催、SDGs の取組や「家の光」の活用方法等の体験発表を行いました。</li> <li>■ 7月 9 日みかんマイスターを開講、9月 29 日には真穴・川上の園地視察を実施しました。</li> <li>■ コロナ禍の中、十分に対策をした中で、充実した各種支部活動を開催しました。</li> </ul>	女性部活動の参加延べ人数 600 人/年

## 集荷率の向上による販売高の増大

(青果販売部)

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 長期安定供給の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月7日に温州出荷協議会を開催、9月24日に極早生販売対策会議を開催しました。</li> </ul>	品種別計画書の作成 ⇒販売開始1ヶ月前
	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月21日に八協共選でコロナ対策を十分にとった中で生産者大会を開催しました。</li> </ul>	タイムリーな生産者大会の開催
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上期においては、共選事務局による摘果講習会等、指導関係活動の参加を促し、コミュニケーション強化と共同意識の向上に努めました。</li> </ul>	女性部による販促 1回/年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>直販店の9月末売上高67,901千円で計画費の105%の実績となっています。</li> </ul>	令和3年度直売目標 3億/年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>清見、はるか、不知火ジュース販売は9,339本の実績となっています。</li> </ul>	販売本数 20,000本/年
2. 共選再編 4 施設構想の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>共選再編については、共選の意向を尊重しながら検討を進めており、早急に今後の方向性を決定していきます。</li> </ul>	令和3年度中に方向性を決定

## 生活メインバンク機能強化による経営基盤の安定化

(金融部)

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 情報収集による個人貯金の純増 136,783 百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月MAリーダー会を開催し、情報収集と管理の徹底により、MA営業力を強化すると同時に、月例検討会の中で各店舗の情報を共有し、組合員相談の充実に努めました。</li> </ul>	情報獲得件数 3件/日(1人)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期積金独自商品(まねんきん)の企画・販売を実施し、提案型セールス(金融部同行指導)を実施しました。</li> <li>定期積金の集金は原則廃止に向けて進めており期首656件に対し571件となっています。</li> </ul>	定期積金獲得件数 216件/年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期貯金独自商品(デジワン定期開始)の企画・販売を実施(金融部同行)し、4,027百万円の契約をいただきました。(進捗率81%)</li> </ul>	定期貯金獲得金額 4,958百万円/年
2. 貯金流出防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>マブレッツによる重層管理、満期管理を徹底し訪問推進、金融部同行指導による提案型セールスに積極的に取り組みました。(満期継続率96.8%)</li> </ul>	訪問活動による各種管理の徹底 満期継続率98%



真穴共選生産者総会



キウイ収穫



みつる共選見学

## 組合員ニーズに合った保障の提案と組合員サービスの強化（共済部）

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 長期共済の強化	■新医療お知らせ活動を中心に3Q訪問活動を実施し、8,727件のお宅に訪問させていただきました。	3Q訪問活動戸数 13,300件/年
2. 短期共済の強化	■自動車新規獲得に向けてキャンペーン活用の強化を実施するとともにグレードアップの支店間格差の解消に向けてスマサポ担当者会等で徹底を図りました。	自動車契約件数 15,200件 自動車共済実績P 4,172,000P

## 営農部門と金融部門の連携強化による農業融資の需要の掘り起こし (金融部・営農振興部)

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. ローン及び 農業融資の強化	■農業メイン強化先の洗い替え92件、定期訪問回数を159件実施しました。 ■農業おまかせ資金、農業近代化資金等の推進により88,887千円（進捗率40.4%）の新規需要がありました。	農業融資 新規実行額 220,000千円/年

## 営農部門と経済部門の連携強化によるトータルコストの低減

重点実施事項	2021. 9月末までの具体的取組進捗状況	目標と課題
1. 経済部門供給高の確保	■秋肥の予約については営農指導部門との連携強化により必要施肥袋数を提示し、供給高で301,539千円の実績となっています。 ■農薬の供給高は967,495千円（計画比96.8%）となっており、肥料同様に営農指導部門との連携強化に努めます。 ■生産資材については115,050千円（計画比106.7%）となっています。より一括仕入れによるスケールメリットが発揮できる取り組みを進めていきます。 ■石油部門の供給高は389,848千円（計画比105.8%）となっていますが、価格の上昇による影響が大きく反映されています。	R3年度供給高  肥料 538,000千円 農薬 1,248,000千円 生産資材 266,000千円 石油 860,000千円
2. 購買部門費用の削減	■店舗巡回指導により商品管理が向上し、値引き、廃棄額が約1,700千円改善することができました。 ■店舗再編は順序を決めて費用対効果も考慮し、代替案を模索して進めていきます。	店舗部門費用 前年実績対比 80%

J Aにしようでは、中期経営計画（R3 Plan）を果敢に実践し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて取り組んでいます。

これまでの取組をご理解いただくとともに、改善すべきこと、要望等がありましたらご意見をください。皆様のご意見をもとに、更なる自己改革につなげていきます。

引き続きJ Aにしようの事業やさまざまな取り組みにご理解・ご協力をお願いいたします。

J Aにしよう並びに組織活動において新型コロナ禍におけるマスク着用を義務化しておりますが、今回の掲載写真には、撮影の時期、状況によってマスク未着用の写真の掲載があります事をご理解ください。